

環境への取組み

地球環境保全に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。

東邦チタニウムグループの環境経営

東邦チタニウムグループは、地球環境保全への貢献が企業の社会的責任であると捉え、「環境基本方針」のもと、製品・技術の開発の段階から製造、流通、さらにはリサイクルに至るまで、環境マネジメントシステムを事業プロセスの中に組み込み、環境負荷の低減と環境リスクの回避・低減に積極的に取り組んでいます。

環境マネジメント推進体制

「環境管理マニュアル」を定め、これに基づき環境マネジメントを構築・維持・運用しています。環境安全担当役員がグループ全体の統括責任者となり、社長が示す基本方針に基づいて環境マネジメントシステムの運用を統括するほか、重要事項は、環境管理委員会で検討・審議し、決定しています。

ISO 14001環境マネジメントシステムの運用

茅ヶ崎工場（トーホーテック株式会社 本社工場及び株式会社タツタ環境分析センター神奈川事業所を含む）、黒部工場、若松工場での企業活動を対象に、ISO 14001の認証を取得しています。各工場において環境マネジメントシステムを運用しており、適用される環境関連法令の遵守状況を継続的に監視するほか、環境目標・計画の策定と運用、その評価と見直しを定期的に行っています。また、ISO 14001が要求している内部監査に加えて、外部機関による法令遵守監査を工場ごとに実施しています。

環境教育の推進

環境マネジメントシステムに基づく計画方針その他の環境管理上の重要ポイントの周知徹底や、従業員の環境意識の向上、関連法令等に関する知識習得等を目的として、階層別、テーマ別など計画的に従業員の環境教育を行っています。

また、万一、環境事故が発生した際に、迅速かつ確に行動できるよう緊急時対応教育・訓練を計画的に実施しています。

様々な講習会を実施するほか、国家資格等の推進、通信教育などで受講料の負担などのバックアップも行っています。

環境に関わる法規制の遵守

法規制を遵守することはもとより、より厳しい自主基準値を設定し、日々の監視、定期的な測定、環境監査などを実施し、大気や水系への有害な化学物質などの排出を管理しています。

自主基準値超過の可能性が判明した場合には、設備対策などを事前実施することで、自主基準値を超えることがないよう管理の徹底を図っています。なお、2020年度は、事業所外部に影響を与えた環境事故はありませんでした。

環境関連公的資格の取得状況

環境関連法令を正しく理解し適切に対応できる人材を早期に育成するため、環境関連公的資格を通じた法律の知識習得を有効な方法のひとつと考え、各種資格取得を奨励しています。

(2021年3月31日現在)

資格	人数
エネルギー管理士	33
公害防止管理者(大気)	36
公害防止管理者(水質)	33
公害防止管理者(騒音振動)	20
環境プランナー	1
Eco検定	4

環境基本方針

環境基本方針

私たちは、事業活動を通じて地球規模の環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献すべく、本環境基本方針を定めて行動します。

1. コンプライアンス
環境関連法令はもとより自主管理基準を遵守し、高い倫理観を持って行動します。
2. 脱炭素化への取組み
環境負荷の低減に配慮した製品を実現すると共に、生産技術の改善・革新により省資源・省エネルギーを追求し、可及的速やかなカーボンニュートラルの実現を目指します。
3. 継続的改善
環境マネジメントシステムを運用し、環境保全への取組みの継続的改善を推進します。
4. 人材育成
地球環境問題や社会的課題に関心を持ち、持続可能な社会の実現を目指して積極的に行動する人材の育成に努めます。
5. 情報の公開
環境保全に関する事業活動状況を、積極的かつ公正に開示し、ステークホルダーとの信頼関係を築きます。

労働安全衛生と心身の健康の確保

労働災害の低減・削減に向けた取り組み

東邦チタニウムグループは、行動基本方針で、「安全とコンプライアンスを最優先し、健全で公正な企業活動」を行うこととしています。多様な人材の活躍の基礎づくりとして、社員一人ひとりが、現在及び将来にわたり心身ともに健康に働ける環境を整えることが大切だと考えています。

安全衛生管理体制

東邦チタニウムグループにおける安全衛生に関する業務は、環境安全担当役員が統括しており、各工場においては総括安全衛生管理者または工場長が統括しています。環境安全担当役員は、総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、産業医、環境安全担当役員が指名した者などを指揮し、東邦チタニウムの安全衛生管理を推進するとともに、会社構内に常駐する関係会社や協力会社の安全衛生管理に関する業務を指揮、統括しています。

安全最優先の徹底

東邦チタニウムグループの行動基本方針では、安全とコンプライアンスを最優先すると宣言しています。安全な職場の実現は企業存立の大前提であり、経営トップから従業員一人ひとりに至るまで、安全・安心な職場づくりに取り組んでいます。

安全衛生基本方針の制定

無事故・無災害に向けて、安全衛生基本方針を定めています。

安全衛生基本方針

私たちは、働く人の安全と健康が企業活動の基盤であり、安全はすべてに優先するとの認識の下、東邦チタニウムグループのすべての事業領域で、安全・安心かつ健康的に働ける快適で魅力ある職場を全員参加で実現します。

1. コンプライアンス
安全衛生関連法令を遵守するとともに、必要な自主基準を設定して厳格に管理・遵守します。
2. 継続的改善
労働安全衛生マネジメントシステムを適切に運用し、継続的な改善に努め、安全衛生目標を達成します。
3. 人材育成
積極的な情報提供と教育を行い、自ら考え行動する人材の育成と安全文化の醸成を図ります。
4. リスクの排除
全ての職場において、リスクアセスメントによる危険源や有害性要因の抽出とそれらの低減・排除に取り組み、永続的な災害ゼロを目指します。
5. 健康増進
働く人の健康維持及び疾病予防に関わる施策の推進により、心と身体健康維持・増進を図ります。
6. コミュニケーション
働く人との協議（対話）を推進し、良好なコミュニケーションを図り、快適な職場環境を確保します。

代表取締役社長
山尾康二

TOPICS

◆労働安全衛生マネジメントの国際規格「ISO45001」日本産業規格「JISQ45100」認証取得

当社は、本年3月、茅ヶ崎工場において中央労働災害防止協会から、労働安全衛生マネジメントの規格である「JISQ45100」の認証を取得しました（これにより、自動的に国際規格「ISO45001」を取得）。当社は、労働安全衛生の改善に積極的に取り組んでおり、働く従業員が安全でより健康的に働ける環境を構築しています。今後はこの取り組みをさらに推進し、他工場においても認証取得を目指してまいります。

登録番号 : JISHA-O-44、JISHA-44
初回認証日 : 2021年3月10日
有効期限 : 2024年3月9日
認証機関 : 中央労働災害防止協会



TOPICS

◆長時間労働による健康障害防止

近年長時間労働に対する関心や注目が高まり、政府による長時間労働削減に向けた取り組みが行われています。このような背景から、年次有給休暇取得促進や適切な労働時間管理の徹底などに取り組んでいます。

TOPICS

主な実施教育

- ◆産業廃棄物の適正処理に関する社内講習会の実施
- ◆フルハーネス特別教育インストラクター要請講習会
- ◆リスクアセスメント教育実施

現場と一緒にリスクアセスメントを行う仕組みを、全社で展開し、内容を強化しながら継続しています。



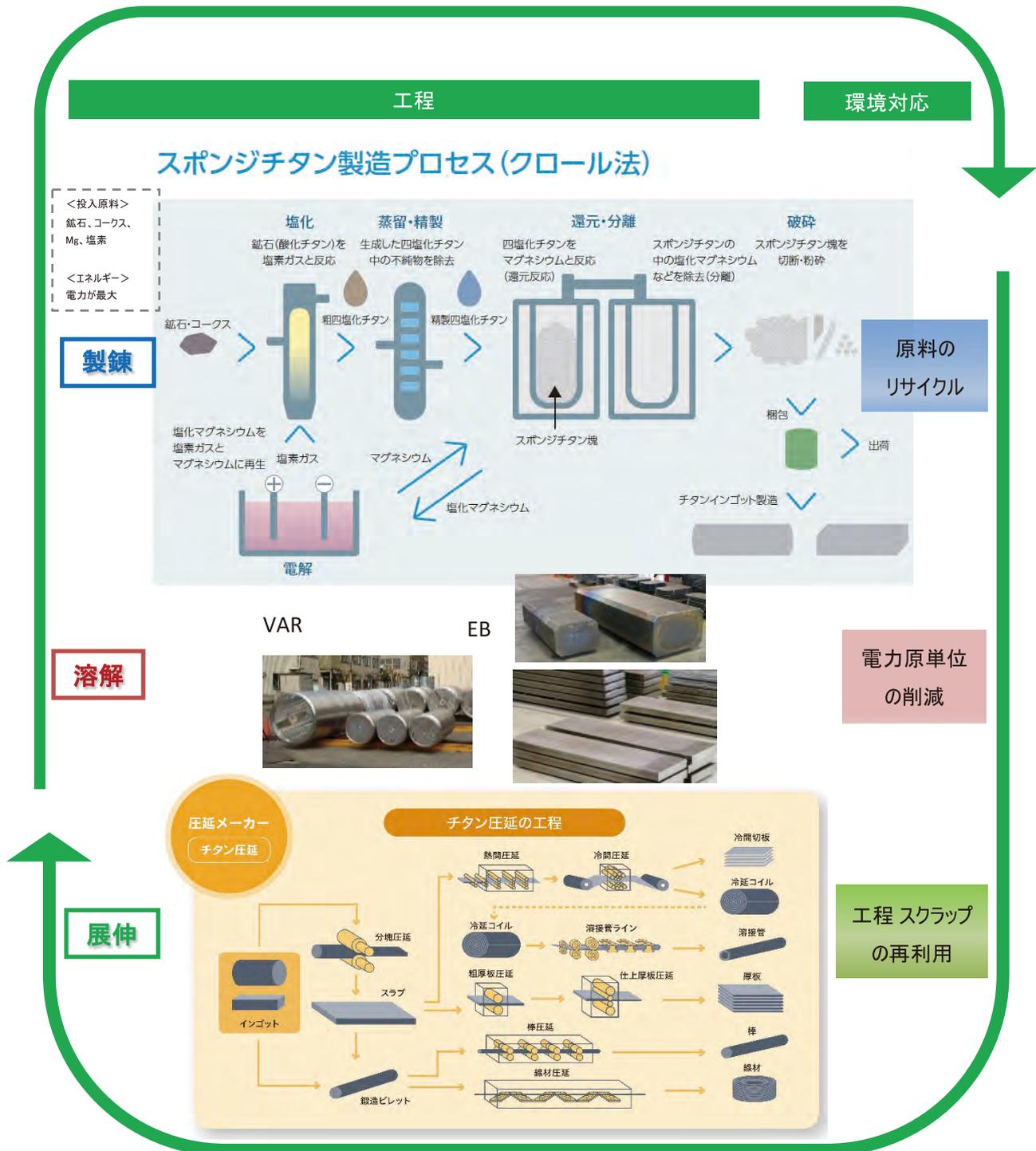
リスクアセスメント教育風景

メンタルヘルス・ケアの取り組み

メンタルヘルスについては、早期発見と未然防止のため社員や職場マネジメントに対して研修を実施しています。さらに心身の健康相談窓口を設け、仕事上の悩みも含むさまざまな悩みや不安の相談に応じています。その他、生活習慣の改善指導や、社内の各種媒体を活用した情報発信や啓発活動などにも力を入れています。

東邦チタニウムグループの循環型ビジネスモデル

金属チタンの製造方法である、クロール法では、まず原料であるチタン鉱石（主に酸化チタン）を塩素ガスと反応させ（塩化）、液体の四塩化チタン（ $TiCl_4$ ）を生成させ、この後これを精製します（蒸留・精製）。さらに、四塩化チタンを金属マグネシウムと反応させ（還元）、スポンジチタンを生成させます。この還元工程では塩化マグネシウムが生成しますが、電気分解（電解）により塩素ガスと金属マグネシウムに再生し、塩化と還元工程で循環利用しています。



環境に関する取組みと実績

東邦チタニウムグループは、省エネルギーの推進や、資源利用の合理化・効率化、環境汚染防止等を通じて、地球温暖化などの環境問題と企業活動との調和に取り組んでいます。

事業活動におけるCO₂排出量の削減

東邦チタニウムグループのエネルギー使用量は、スポンジチタン生産量の増減により大きく影響を受けますが、環境負荷軽減に向けた取組みとして、燃料の見直し、未利用エネルギーの利活用、工程・設備の改善、生産プロセス効率化等による電力使用量削減を進めています。

2020年度は、熱触ボイラ更新による省エネ、若松工場の還元分離時間短縮、茅ヶ崎工場・若松工場における電解設備改良等を実施しました。また、照明のLED化や高効率の変圧器の更新等、計画的に取り組んでいます。



(注)スポンジチタン生産量、t-CO₂排出量、電力消費量、都市ガス消費量ともに2016年度を100とした相対値を表示しています。



水資源の利用

当社の水使用量及び排水量の実績は下図のとおりです。



SO_x及びNO_x排出量

硫酸化物(SO_x)や窒素酸化物(NO_x)の大気への排出量は下図のとおりであり、これらは主としてチタンの製造工程で使用するボイラーによる燃料の燃焼によるものです。定期的メンテナンスを行い、排出量削減に努めています。



廃棄物削減・再利用の取組み

各事業所から発生する産業廃棄物を可能な限り抑制する取組みを継続して行っています。

分別を強化し有価物化、再資源化に努めるとともに、最終処分する場合は、産業廃棄物処理法を遵守し、適正に処理を行っています。

※埋め立て処分比率22%中20%については、海洋埋立て用地開発用として有効活用されています。

産業廃棄物の内訳

